



コスモス

NO.44 HP用

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

児童会新役員選出と新旧役員引継ぎ

児童会も新役員選出、そして、引継ぎの時期を迎えました。

本校は、児童会の役員は5人です。6年生から会長1名、副会長2名、5年生から書記2名です。その5名の選出については、今の学年のうちにいきます。

1月後半から2月前半にかけて、まず、現6年生の役員が、5年生と4年生に、児童会役員の魅力や、やりがいを伝えました。そして、それぞれの学年の中で立候補し、演説し、そして、学年内選挙を行いました。

まず、自分から立候補をしたことがすばらしいことです。自分から、「財田小学校をよりよくしていこう」「そのために、全校生の先頭に立って引っ張ろう、また、全校生を後ろから支えよう」と考えたことがすばらしいです。そして、少し恥ずかしくても勇気を出して、「やりたいです」と行動に移したことがすばらしい。

演説では、具体的にどんな児童会にしたいのか？そのために何をしたいのか？を言葉で伝えました。こういう経験はこれまでにあまりなかったと思いますが、立候補した子たちはがんばりました。原稿を書き、読む練習をしたり、覚えたり、言い方を工夫したりして、本番に備えたわけです。それぞれの学年での演説を、私は聞くことができなかつたのですが、どの子もがんばったはずですよ。

そして、投票。どの子もよく考え、投票したと思います。この経験も大切です。

そして、学年での当選者が決まりましたが、当選した子がいれば当選しなかつた子もいます。当選しなかつた子にとっては、それはショックな出来事です。「せっかく、やる気で立候補したのに・・・。」と思ったでしょう。人生にはそういうこともあります。いえ、逆にプラス思考で、貴重な経験をしたと思えばいいと思います。立候補するやる気と勇気をもっている子たちです。きっと悔しさを乗り越えて、他の様々な場面でがんばってくれると期待しています。

当選した子も、これで終わりではありません。今度は、全校生や先生たちの前での演説と信任投票です。体育館のステージの上で演説をするのはかなり緊張したと思いますが、どの子も立派にやり遂げました。この経験も貴重ですよ。

そして、その演説を聞いて「任せる」か「任せない」かを判断して、全校生が投票しました。その結果、5人全員が信任されました。



おめでとうございます。そして、「みんなのためにがんばろう」という今の気持ちにさらに磨きをかけて、力を発揮してください。活躍を期待しています。

現役員6年生の3人から新役員5人への、引継ぎ式が行われました。この1年間会長・副会長としてがんばってきた3人の6年生の最後のメッセージと、新会長さんからのお礼の言葉の主な内容です。



司会や全校遊びの運営などを通して、「協力することの大切さ」を学んだ。一人だけではできないことも、みんなで力を合わせればできるということが分かった。



行事の準備などを通して、「自分は役に立っている」ということを実感できた。人の役に立つということはとてもうれしいことが分かった。

毎月の児童会の役員会で、次の行事の準備などを通して、準備をすることの大切さを学んだ。準備をしっかりすれば、すばらしい会になることが分かった。



1年間ありがとうございます。たくさんの活動でみんなを引っ張ってくれてありがとうございます。笑顔あふれる仲間になるために、全校遊びなどを企画して、みんなを楽しませてくれました。本当にありがとうございました。

3人の現役員さんとともに全校生のためにがんばってくれた6年生のみなさん、ありがとうございました。